

夏野

今瀬剛一

誰にでももの言へさうな裸なり

金魚五匹なかの一つの急上昇

地球温暖化蝮まで減りしとか

叩き消すなり蚊柱と嫌な顔

暑くなるぞと鉛筆を研ぎ揃へ

鉄砲が投げ捨ててある夏野かな

いくさ絶えぬか兜虫角もたげ

大子杉真つ直ぐに降る夏の雨

新茶封切る竹藪に風生まれ

舟料理流れ残りのごとくをり

麦刈りし畑の乾きつづけるか

とどまりて形正しき梅雨鯨

ウィーン少年合唱団

少年の夏望郷を歌ふなり

ようこそ日本へ今日は薄暑です

オブリガード春の星ふり被り